

住人十色

第 115 回

憧れの暮らし方を御祓地区で—— 新しい地域おこし協力隊が活動開始

水谷 円香まどかさん(27) 〓北表〓



◎「たくさんの人が集まる場所にしたい」と抱負を語る水谷さん(埼玉県出身)。御祓小学校跡のグラウンドで撮影。

内子町の新しい地域おこし協力隊として、2月1日から五十崎自治センターに勤務する水谷円香さん。御祓小学校跡の活用などを中心に、地域の活性化を目指して活動を開始します。

田舎暮らしがしたいという水谷さんは、石畳地区の炭焼き職人の記事をネットで見て、内子町を知りました。「田舎で暮らすには何かしら生業が必要。炭焼きに限らず、選択肢を広げて考えたい。都会では買わないと何も手に入らなかった。自分で自分の手足を動かして、何かを作る暮らし方に憧れる」とその魅力を語ります。前職が演劇関係の仕事で、観劇好き——。「田舎暮らしをしながら、内子座や町並保存地区で文化的なものにも触れられる」と期待に胸を膨らませます。

御祓地区には昨年、棚田オーナーとして訪れているそうで、「皆さん優しく、歓迎してくれている。最初に移住したいとあいさつしたら、その日のうちに空き家を紹介してもらった」と笑います。「一番の目標は人を増やすこと。3年の任期では結果が見えないかもしれないけれど、そのきっかけをどんどん作りたい。御祓小学校跡の活用はその一つ。ここの暮らしを教わりたかったので、ぜひ話に来てほしい」と目を輝かせました。

編集 幸記

▽毎年1月号は成人式 駅伝大会と、若く元気な人々を取材させてもらいます。その姿に自分も頑張ろうと運動を始めるのですが、なかなか続きません。今年は睡眠をたっぷりとって、老化防止に努めます。手遅れか(裕)▽人☆キラリの黒住さんが作った絵本には、子ども時代の楽しい草遊びがたくさん紹介されています。私の子ども時代は、草遊びよりも食べる専門。イタドリにスイバ、野イチゴ……。食い意地だけは、昔から変わらないうです(航)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

